

# 中学校のキャリア教育全体計画例

## キャリア教育全体計画

生徒の実態(課題)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総じて明るく穏やかで素直な生徒が多いが、よりよい人間関係を築く力が不足しており、友人関係のトラブルを解消できないことが少ない。</li> <li>・教師の指導によく従い、指示されたことと与えられた課題には真面目に取り組む。しかし、自発的な行動や建設的な発言に乏しく、集団のために自己をさそうとする意欲に欠ける面が見られる。</li> <li>・勤労の尊さや働くことの意義についての考えが浅く、望ましい勤労観・職業観をもつ生徒は少ない。</li> <li>・高い目標を設定し、果敢に挑戦しようとする精神力が不足しているため、本来の資質や能力が十分に発揮されなかったり、困難に負けて安易に妥協してしまう生徒も多い。</li> </ul>

学校教育目標
<p>「高い志とたゆまぬ努力で自己を磨き、無限の可能性に挑戦する人」</p> <p>(1)自ら学ぶ生徒 (2)心の豊かな生徒 (3)たくましく生きる生徒</p>

保護者・地域の願い
<p>いじめや問題行動がないこと、生徒同士が仲良く、楽しく通える安全・安心な学校を第一に望んでいる。また、学力向上や進学についての関心も高いが、部活動や学校行事の充実を通して、活力ある生徒の育成を期待する声も大きい。</p>

本年度の重点目標
<p>①向上心を持ち、目標に向かって意欲的に学ぶ生徒を育てる。 ②相手の心に共感し、励まし合って生活する生徒を育てる。 ③心身を鍛え、進んで課題解決に取り組む生徒を育てる。</p>

求められる教師像
<p>○生徒や保護者に信頼される指導力と情熱、人間性を備えた教師 ・愛容的風土と共感的な人間関係を築く学級経営ができる教師 ・生徒の主体的な学びを導く授業ができる教師 ・学校で学ぶこと・活動することの意義や価値を、生徒の心に伝えることのできる教師 ・進路に対する確かで豊富な情報と、多角的・多面的な職業観・勤労観をもつ教師</p>

必要となる学校の教育環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒同士、生徒と教師の信頼関係を基盤とした学級集団</li> <li>・生徒の自発的な発想が生かされる話し合いの場と実践活動・キャリア発達を啓発する校内環境の整備(進路情報揭示板の設置、進路だまりの発行)</li> <li>・保護者及び地域人材の、キャリア教育に対する理解と協力体制</li> </ul>

キャリア教育によって目指す生徒像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生き方を考え、将来の夢を持つことで、向上心や自ら学ぶ意欲を高め、自己実現に向けた真剣な学びができる生徒</li> <li>・集団の成長と発展を願い、そのために切磋琢磨することに価値と喜びを感じている生徒</li> <li>・将来についての見通しをもち、困難な場面においても柔軟に対応できる能力を育成して、目標をもって努力し続ける生徒</li> </ul>

キャリア教育目標
<p>支え合う仲間を大切に、互いに切磋琢磨しながら、自己の可能性に挑戦する生徒の育成</p>

育成すべき能力・態度(「基礎的・汎用的能力」分類)			
関わる力	活用する力	挑戦する力	見通す力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な言葉遣いで、相手や場面に応じた礼儀正しい挨拶や返事ができる。</li> <li>・自分と違う意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝え、よりよい人間関係を築くことができる。</li> <li>・他人の良さや、気持ちを尊重しながら、協力して学習や活動をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味や関心を生かし、自分で活動を選択できる。</li> <li>・課題や問題に対して、より良い方法等を見つげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やらなければならない仕事や学習上での課題を発見することができる。</li> <li>・困難な状況でも解決に向けて努力することができる。</li> <li>・自分の意志で決めたことについて、責任をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が果たすべき役割を理解し、主体的に実行することができる。</li> <li>・社会人としてのプランを描くことができる。</li> <li>・生涯にわたってたくましく生きるために、学ぶことや働くことの意義を、自己の生き方と重ねて考えることができる。</li> </ul>

各学年の柱となる活動		
1年生	2年生	3年生
<p><b>進路探索を始めよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月:「中学校生活の目標を立てよう」(学活)</li> <li>・7月:「さまざまな職業を知ろう 職業調べ」(総合)</li> <li>・10月:「さまざまな職業を知ろう 職業人講話」(総合)</li> <li>・11月:「地域フィールドワーク 町の働く人を知ろう」(総合)</li> </ul>	<p><b>進路計画を立てよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月:「職場訪問から働く意義を考えよう」(総合)</li> <li>・9月:「何のために働くのか」(学校行事)</li> <li>・10月:「ジュニアインターンシッププログラム」(総合)</li> <li>・2月:「進路情報の収集と活用」(学活)</li> </ul>	<p><b>進路選択をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月:「10年後の自分プランを描こう」(学活)</li> <li>・11月:「生き方について考えよう」(道徳)</li> <li>・1月:「面接の達人になろう」(国語)</li> <li>・3月:「卒業式」(学校行事)</li> </ul>

柱となる活動を支える「各教科等における指導の方針・内容等」						
各教科	道徳	特別活動			総合「なら」	その他の教育活動
		学級活動	学校行事	生徒会活動		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な言葉遣いで、相手や場面に応じた礼儀正しい挨拶や返事をする。</li> <li>・自分と異なる意見を受け入れながら、自分の考えを適切に伝え、よりよい人間関係を築くことができるよう、話し合い活動の指導を工夫する。</li> <li>・問題解決のために、より良い方法等を見つげることができるよう、グループ協働の場を工夫する。</li> <li>・学ぶことや働くことの意義を、自己の生き方と重ねて考えることができるような助言や説話を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(5)自分のよさや個性を見つけ、伸ばしていくようにする。</li> <li>・2-(5)それぞれの立場やものの見方、考え方を尊重する。</li> <li>・3-(3)目指す生き方に近づこうと、良心を信じて行動する。</li> <li>・4-(4)集団の中で、自分の役割と責任を自覚し、集団生活の向上を目指す。</li> <li>・4-(5)勤労の尊さや意義を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の組織づくりと仕事の分担</li> <li>・生徒会活動への参加</li> <li>・自己及び他者の個性を理解する</li> <li>・社会の一員としての自覚責任</li> <li>・学ぶこと・働くことの意義理解</li> <li>・進路選択と進路設計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年「職業調べ」</li> <li>・2学年「職場訪問活動」</li> <li>・入学式(決意発表)</li> <li>・小中高合同地域清掃ボランティア活動</li> <li>・文化祭(舞台発表、各係展示、合唱コンクール)</li> <li>・卒業式(羽立ちの言葉)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生歓迎会(部活動・委員会活動紹介)</li> <li>・生徒総会</li> <li>・体育大会の企画、準備、運営</li> <li>・文化祭の企画、準備、運営</li> <li>・生徒会役員選挙</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;1学年&gt;</li> <li>・「様々な職業を知ろう」(職業調べ)</li> <li>・「調べたこと、学んだことをレポートにまとめよう」</li> <li>・「働くとともに」</li> <li>&lt;2学年&gt;</li> <li>・「職場を訪問し、職業人から学ぼう」</li> <li>・「学んだこと、感じたことをレポートにまとめよう」</li> <li>・「法隆寺から考える」</li> <li>&lt;3学年&gt;</li> <li>・「体験したこと・学んだことをレポートにまとめよう」</li> <li>・「人々の思い」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の創意工夫を生かした係活動の活性化に努める。</li> <li>・一人一役の当番活動を通して、自己の役割の自覚と集団生活での責任の大切さを感じさせる。</li> <li>・生徒のキャリア発達が促される朝、朝の会、帰りの会のプログラムの工夫に努める。</li> <li>・清掃活動を通して、勤労観の形成を支援する。</li> <li>・学級通信・学校だまり等を活用し、保護者への啓発に努める。</li> <li>・小中のつながりを意識した取組</li> </ul>

キャリア教育の成果を評価する手立て	
定量的な評価	定性的な評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「キャリア教育意識調査」の実施(7月、11月)</li> <li>・学校評価(生徒、保護者、学校関係者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科等の学習及び体験活動での作品、感想文等の集積</li> <li>・教師の観察記録、指導記録の蓄積</li> <li>・保護者や地域の方々、職場体験等の関係事業所の方々の感想など</li> </ul>